

科学者委員会広報分科会（第 22 期第 21 回）議事要旨

1. 日 時 平成 25 年 10 月 2 日（水）12:20～13:20
2. 場 所 日本学術会議 6-B 会議室 6 階
3. 出席者 辻村みよ子委員長、北里洋副委員長、小森田秋夫幹事、
那須民江幹事、山川充夫委員、萩原一郎委員、渡辺美代子委員、
日本学術会議事務局企画課：高橋、伊藤、島田
日本学術協力財団：南、末次

【配布資料】

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 資料 1 | 第 21 回科学者委員会広報分科会出席者一覧 |
| 資料 2 | 第 20 回科学者委員会広報分科会議事要旨（案） |
| 資料 3 | 日本学術会議和文パンフレット（22 期改訂版） |
| 資料 4 | 1 F ラウンジの広報パネル展示一覧（2013 年 10 月） |
| 資料 5 | 『学術の動向』平成 25 年 10 月号以降の掲載予定記事一覧 |
| 資料 6 | 現在寄せられている『学術の動向』特集記事等の企画案等 |
| 資料 6－1 ～ | 各企画案 |
| 資料 7 | 第 21－22 期会員執筆状況（2013. 9 時点改訂版） |
| 資料 8 | 『学術の動向』への投稿記事 |

【参 考】

- 参考 1 日本学術会議関連イベントスケジュール

議 事

（1）第 20 回科学者委員会広報分科会議事要旨について

- ・原案のとおり了承された。

（2）日本学術会議の広報活動について

- ・和文パンフレット 22 期改訂版が完成したため資料 3 として紹介された。
英文パンフレット 22 期改訂版について、10 月 4 日納品予定であると報告された。
- ・今年 4 月に作成したリーフレットについて、10,000 部を印刷して随時配布していることが報告された。
- ・日本学術会議庁舎 1 階のラウンジに展示している広報パネルについて、16 枚すべて更新したと報告された。

（3）『学術の動向』について

『学術の動向』への編集協力について

＜特集＞

11 月号以降、来年 7 月号までの特集テーマについて確認を行い、次のようなテーマで掲載することとした、なお来年 4 月以降は候補とし、企画の提出等を待って来年 1 月の広報分科会で見直しを含めて審議することとした

（11 月号）

- ・特集 1：東日本大震災とマイノリティ-高齢者・障害者・外国人に対して問わねば

ならないこと

- ・特集２：今「宇宙」がおもしろい

(12月号)

- ・特集１：災害と環境教育
- ・特集２：原子力災害からの復興に向けた課題と対応

(1月号)

- ・特集１：グローバル化における『パワーシフト』への対応
- ・特集２：これからの20年の労働者のメンタルヘルスを考える

(2月号)

- ・特集１：材料工学の人材育成
- ・特集２：福島原発事故に対する法的対応と課題

(3月号)

- ・特集１：科学・公益・社会—情報発信のあり方を考える—
- ・特集２：原子力発電の社会的普及プロセスの歴史的検討

<表紙>

- ・11月号、12月号の表紙が未定のため、すぐに催促を行い、複数の候補を挙げてもらう。10月、11月、12月は震災関連のテーマが続くため、注意する。
- ・表紙の決定については、特集１のテーマに基づいたものを使用するが、ノーベル賞やジャポンプライズのような特別なことがあればその限りではないことを確認した。

<編集後記担当>

- ・平成26年5月号までの担当委員を確認するとともに、一部を見直した。

<その他>

- ・特集以外の記事として、受賞記事に関する提案が財団からなされたが、何らかの賞を受賞した場合の対応について、掲載基準について検討すべきとの意見が出され、掲載する場合のルール化について今後継続して審議することが確認された。
- ・昨年行っていた第22期までの会員のうち、一度も『学術の動向』に執筆をしたことのない者に絞って寄稿を依頼の件は、整理したリストを基に総会中に各部ごとに広報分科会委員から依頼することとした。

(4) その他

- ・次回の広報分科会の開催日は、来年1月に開催することとするが、委員の都合のつく日程を確認した上で、開催日を決定することとした。

以上